



たんぽぽぐみだより

2018年 3月 第5号

新しい春への準備が本格的になってきました。冷たい北風にも負けずに過ごした冬とももうお別れです。

笑ったり、泣いたり、怒ったり、驚いたり…。いろいろな表情や感情を見せてくれた1年でした。大人にとってはあっという間の1年も、子どもたちには、毎日が新しい発見や出会いの連続だったことと思います。

残り1ヶ月となりましたが、楽しく元気に過ごしていきたいです。

お散歩だいすき♪

たんぽぽぐみの子どもたちは、散歩が大好きで保育園の裏の団地、海によく行きます。歩行が不安定だった子が多かったですが、今では、みんなお友達と仲良く手を繋いで散歩を楽しめるようになりました。また、「今日のお散歩はどこに行きたい?」と聞くと、「わんわんのとこ!」「うみ行くー!」とリクエストが出るほどです。

ある日のこと。海に散歩に行く途中に‘まつぼっくり’がたくさん落ちていて、1人の男の子が「こわい、こわい」と言って、歩けなくなってしまいました。「なんで怖い?」と聞くと、まつぼっくりを指さして「うんち!」と。思わず笑ってしまいました。すると、手を繋いでいたお友達が「大丈夫よー!」と引っ張ってくれ、なんとか海に辿り着くことが出来ました。散歩を通してお友達を思いやる気持ちも育っています。

これから、暖かくなっていくので公園などにも行って楽しくお散歩していきたいと思っています。

1年間を振り返って…



1年を通して自分で出来ることがたくさん増え、心も体もたくましく成長した子どもたち。4月当初は、まだまだ赤ちゃんでロッカーや下駄箱の場所を覚えるのが大変で、身の回りのことは、ほとんど保育士が行っていました。子どもたちがなにか1つでも出来る度に、オーバーリアクションをしていたあの頃が昨日のここのように感じます。

生活面では、個人差はありますが、身の回りのことを自分で出来ることが多くなりました。また、保育士のお手伝いをしてくれたりと頼もしい姿も見られます。



また、身体を動かすことが大好きなので1年間いろいろなダンスを楽しんだり、リズムあそびや「さんぽ」の曲に合わせて行進やAKB48の「会いたかった」の曲が終わるまで全力で走ったりしてきました。必ず「もう1回!」とリクエストが入るので、子どもたちの体力に合わせるのが大変なくらいでした。友達との関わりでは、1人遊びが中心でしたが、徐々に近くで遊んでいる友達に目が向くようになり、ごっこ遊びを楽しむ姿が多く見られるようになりました。友達



との関わりが増えた分、まだ自分の気持ちを言葉で伝えたり、相手の気持ちを考えられないので、トラブルも多く見られます。そんなときには、保育士が間に入って少しずつ関わり方を伝えていきます。いろいろなことが出来るようになると、次へ次へと期待してしまいますが、まずは、今の子どもたちの頑張りをたくさん褒め、これからの成長も見守っていききたいと思います。

保護者の皆様がいつも子どもたちを温かく見守って下さり、それが子どもたちの力になったことと思います。たくさんのご協力をいただき本当にありがとうございました。

